

総合的な学習の時間の指導のポイントは？

総合的な学習の時間では、「答えが多様で正答の定まらない問い」について他者と協同して解決する学習が重視されています。児童・生徒にとって納得できる解、最適な解を探っていくためには、「**探究的な学習**」「**協同的な学習**」の実現が求められます。一学期の学習を振り返りつつ、この二点を意識しながら指導することで、二学期からの総合的な学習の時間がより一層充実していくと思います。

＜ 学習指導の二つのポイント ＞

「探究的な学習」

「協同的な学習」



探究的な学習とするためには、学習過程をどうしたらいいの？

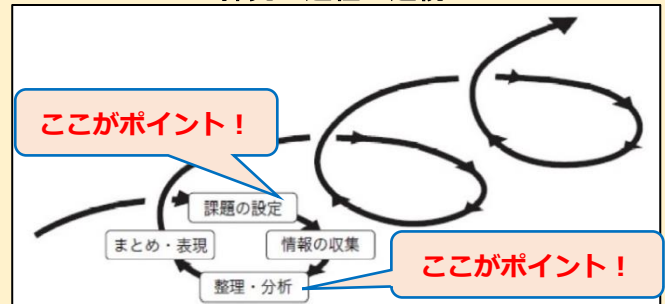
右の図のように①～④の学習過程が発展的に繰り返されるようにしていくことが大切です。

【① 課題の設定】【② 情報の収集】

【③ 整理・分析】【④ まとめ・表現】

※ 特に、現在指導している場面が、どこに当てはまるかを考えながら指導していくことが大切です。

探究の過程の連続



【①課題の設定】の指導のポイントは



学習の**対象と直接かかわったり、体験活動をしたりすることが**大切です。また、**比べて考えられるような体験を位置付け、違和感、矛盾、必要感に気付かせ**、課題設定につなげることが考えられます。何よりも、他者から与えられた課題ではなく、児童・生徒自ら課題を設定することが求められます。

＜ 課題の設定（例） ＞

- ・ **体験活動の対比**
 - ・ **資料の比較等**
- (例) 川の上流の体験と下流の体験を比べる

これまでの子供の考えとの「ずれ」「隔たり」

問題意識
目的意識

解決への
見通し

違和感「あれ？」⇒「気になる」
 必要感「おや？」⇒「何とかしたい」
 矛盾「なんで？」⇒「解決したい」

課題の
設定

【③整理・分析】の指導のポイントは



収集した情報をKJ法、図や表、思考ツール、グラフ等で整理することが有効です。児童・生徒は、**情報を整理することで思考する活動へと高まります**。また、雑多の情報から分析し、**関係性や傾向を見付けることが**大切です。



「協同的な学習」については、次の号で！！



【付箋を使った整理・分析】
⇒ 自分と友達の意見を比べて整理